

国際フォーラム「グローバル化と新たな開発援助のあり方」開催

01

4月2日、JICA研究所で国際フォーラム「グローバル化と新たな開発援助のあり方」(主催…JICA、世界銀行)が開催されました。

午前の部では、道傳愛子NHK解説委員を進行役に、韓昇洙(ハンススズ)前韓国国務総理、スリン・ピツワンASEAN事務総長、井出伸之クオンタムリープ株式会社代表取締役(元ソニー会長)、ジャスティン・リン世界銀行上級副総裁兼チーフエコノミスト、緒方貞子JICA理事長の5人によりパネルディスカッションが行われました。

緒方理事長は、世界の相互依存が高まる中、「開発援助は慈善事業ではなく、世界の人々が共存できる環境整備を担うもの」と述べ、今後の援助は新しい考え方、アプローチが必要であると指摘しました。また、他のパネリストからは、「日本は国内だけでなく、アジアのニーズを考えていくべき」「日本の発展の経験と技術を生かし、アジア諸国とパートナーとなるべき」などの意見が出されました。

午後の部では、世界銀行発行の『世界開発報告書2011』への日本からのインプットに向け、脆弱・紛争影響国への支援についての議論がなされました。



進行役の道傳NHK解説委員(左)と緒方理事長

国際協力トークイベント「青年海外協力隊という選択」開催

02

3月27日、国際協力トークイベント「青年海外協力隊という選択」(主催…JICA、共催…朝日新聞社)が早稲田大学で開催され、約1200人の応募の中から抽選で選ばれた約420人の方が来場しました。

第一部では、黒柳徹子ユニセフ親善大使が「私が会った世界の子どもたち」青年海外協力隊への期待をテーマに講演。これまで訪れた途上国で子どもたちの過酷な状況に胸を痛めてきたエピソードを紹介し、「現地に行くと初めて分かることも多い」と行動を起こすことの大切さを伝えました。また、隊員としての活動する際には、「相手のた



「まずは行って見て、いろんな人に出会ってほしい」と語る黒柳さん

めにではなく、同じ目標に向かってみんな一緒に取り組むという気持ちが必要」というメッセージを送りました。

第二部では、日本貿易振興機構(ジェトロ)の佐藤寛上席主任調査研究員を進行役に、3人の隊員OB・OGによるパネルトークを開催。「困難もたくさんあったけれど、大海の一滴にはなれたのでは」「教育は学校に限らず、ほかにもいろいろな形があると気付き、現在の出版社での仕事や人生を考えるきっかけになった」「協力隊という生き方を選択することで、新しい出会いや発見、可能性が見えてくる」と来場者に思いを伝えました。

最後に佐藤さんが、「協力隊への参加でより世界観が広がるのではないのでしょうか」とし、会を締めくくりました。

ソニー、UNDP、JICA「パブリックビューイング・イン・アフリカ」実施決定!

03

3月24日、ソニー株式会社、国連開発計画(UNDP)、JICAが共同記者会見を行い、2010 FIFA ワールドカップの開催期間中、ガーナの9都市、カメルーンの3都市で「パブリックビューイング・イン・アフリカ」を実施することを発表しました。

両国はアフリカ地区代表ですが、国内のテレビ普及率が低く、市民が試合を観戦する機会は多くありません。そこで、ソニー製の大型映像装置を野外に設置して約20試合を中継。さらにガーナではJICAが、カメルーンではUNDPが、会場に集まった人々を対象に、試合前後やハーフタイムの時間を使って、ビデオや劇、避妊具の配布などを通じたHIV/エイズの啓発・予防活動を行います。これにより、多くの市民にHIV/エイズの正しい知識を伝え、検査の受診者が増えることが期待されます。



パブリックビューイングの成功を誓うソニーのストリンガー会長兼社長CEO(中央)、北澤豪氏(右から3人目)ら